

キノコの駒打ち体験

2月13日（水）は、年長組園児31名、保育園先生4名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名の計40名で「キノコの駒打ち」を実施しました。

立春を過ぎても酒田では寒さが厳しく雪も多く残っていますが、この日は、珍しく青空ものぞかせ比較的暖かな日和となりました。

園児の皆さんは、保育園となりの公民館の体育館に集合し、7つの班に分かれキノコの駒打ちに挑戦しました。

まず、当センター職員が榎木（ミズナラ）やシイタケ、ナメコの実物を使って説明を行いました。シイタケやナメコの保存方法について、園児の皆さんに尋ねてみました。「シイタケはお日様に干す」と答えてくれた優秀な園児もいました。ナメコについては、わからないようだったので、ナメコは、缶詰で保存することを教えました。また、キノコの効能として、免疫力アップ、生活習慣病予防、骨粗しょう症予防、美容効果があるすばらしい食品であり、森のそうじやさんであることを教えました。

次に、当センター職員2名による榎木の穴あけデモンストレーションを行いました。ある園児は、電動ドリルによる穴あけで、飛び散る木くずを見て「肉まんが具が出てきたようだ」と表現してくれました。また、みんなの代表（男の子）が電動ドリルを使用した穴あけにもチャレンジし、参加者全員から拍手がわき上がりました。

駒打ち体験では、園児の皆さんが7班（4～5人）に分かれてキノコの駒打ちを体験しました。当センター職員からキノコの駒打ちのポイントとして、「優しく、優しく」ヤンマーで叩くようにと指導しました。巣箱・木製プランターづくりで釘打ちを体験している園児の皆さんにとっては、ハンマーの使い方も手慣れたもので、たちまち用意した榎木に駒を打ち付けてしまいました。キノコ菌を打たれた榎木（シイタケ31本、ナメコ19本）を前にして、園児の皆さんは、「シイタケくん。ナメコさん。大きなキノコになって出てきて下さい。」とお祈りをしました。1～2年後、きっと大きいキノコが顔を出してくれることでしょう。

最後に、駒打ちをした榎木を前にして記念撮影を行い、汗で光る笑顔をカメラに納めました。また、園長先生からは、「園児の皆さんが卒園してから、この榎木からキノコが出てきます。キノコが出てきたら、皆さんにお手紙しますので、その時は西荒瀬保育園に榎木を見に遊びに来て下さい。」と挨拶がありました。

保育園と園児がキノコでつながる楽しい一日になりました。





朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター